

令和3年度 第2回みえ森と緑の県民税評価委員会 事項書

日 時：令和3年8月19日（木）13：30～16：30

場 所：アスト津 4階 アストホール

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 令和3年度第1回みえ森と緑の県民税評価委員会での意見

(2) 令和2年度みえ森と緑の県民税基金事業の評価

4 評価報告（答申）

5 その他

令和3年度みえ森と緑の県民税基金事業計画の報告

【資料一覧】

資料 1 令和 3 年度第 2 回みえ森と緑の県民税評価委員会

出席者名簿及び配席図

資料 2 令和 3 年度第 1 回みえ森と緑の県民税評価委員会におけるご意見

資料 3 令和 2 年度みえ森と緑の県民税基金事業の評価委員会評価

資料 4 答申（案）令和 2 年度みえ森と緑の県民税基金事業の実施後の

評価・提言について

資料 5 - 1 令和 3 年度みえ森と緑の県民税基金事業・事業別評価シート

資料 5 - 2 令和 3 年度みえ森と緑の県民税基金事業（資料編）

参考資料 根拠法令等

## 令和3年度 第2回みえ森と緑の県民税評価委員会 出席者名簿

## 1. みえ森と緑の県民税評価委員

役職	委員名	出身団体等名称・役職	出欠
委員	石川 知明	三重大学大学院生物資源学研究科教授	
委員	上ノ坊 淳	三重県小中学校長会幹事（紀北町立三船中学校長）	欠席
委員	大浦 由美	和歌山大学観光学部教授	
委員	新海 洋子	一般社団法人SDGsコミュニティ代表理事	
委員	林 拙郎	三重大学名誉教授	
委員	藤井 恭子	皇學館大学現代日本社会学部准教授	
委員	松井 寿人	三重県中小企業団体中央会事務局長	
委員	三田 泰雅	四日市大学総合政策学部教授	
委員	矢田 真佐美	三重県地域婦人団体連絡協議会副会長	
委員	吉田 正木	吉田本家山林部代表	

※五十音順、敬称略

## 2. 事務局

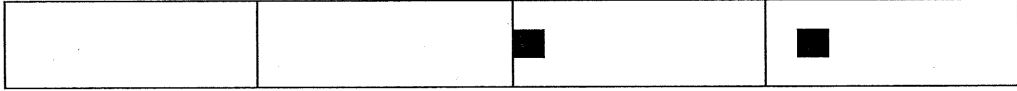
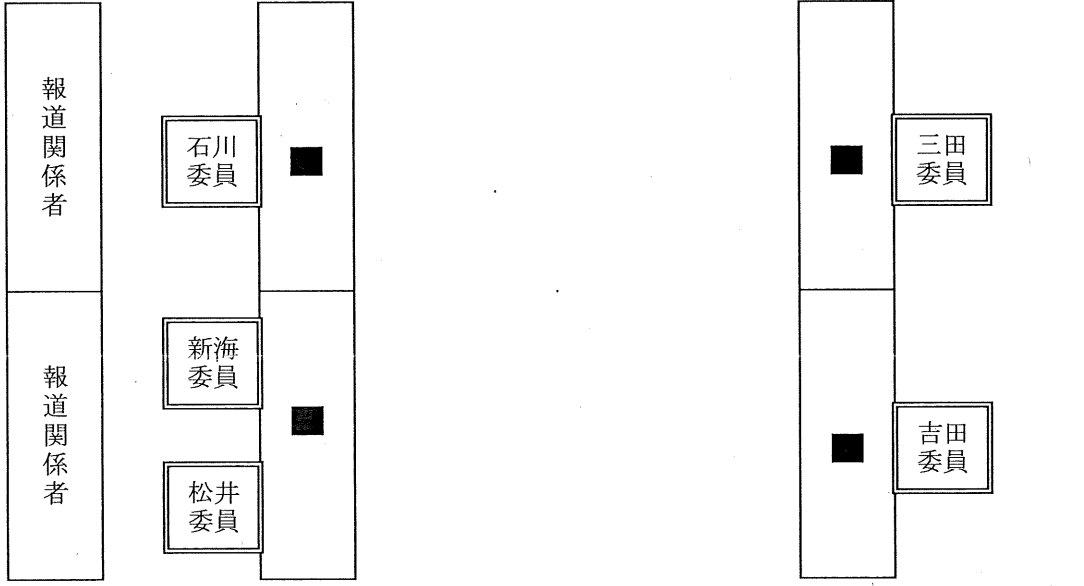
〔農林水産部関係〕

氏名	役職等
村上 浩三	次長（森林・林業担当）
木下 直也	森林・林業経営課長
田村 泰彦	森林・林業経営課スマート林業推進班長
真弓 伸郎	治山林道課長
澤井 秀樹	治山林道課治山班副参事兼班長
中村 元久	みどり共生推進課長
久保村 実	みどり共生推進課みどり推進班副参事兼班長
辻 公彦	みどり共生推進課野生生物班副参事兼班長
竹本 達男	みどり共生推進課自然公園班課長補佐兼班長
野々田 稔郎	林業研究所長
中村 好範	林業研究所普及・森林教育課長
杉野 成生	四日市農林事務所森林・林業室長
宮崎 恵一	津農林水産事務所森林・林業室長
藤井 栄治	松阪農林事務所森林・林業室長
山口 和昭	伊勢農林水産事務所森林・林業室長
力久 秀夫	伊賀農林事務所森林・林業室長
辻本 秀人	尾鷲農林水産事務所森林・林業室長
福岡 秀哉	熊野農林事務所森林・林業室長

令和3年度 第2回みえ森と緑の県民税評価委員会 配席図(案)

リモート操作

スクリーン



- 野々田  
所長
- 真弓  
課長
- 木下  
課長
- 村上  
次長
- 中村  
課長
- 久保村  
班長
- 事務局  
担当

熊野農林 事務所	伊賀農林 事務所	松阪農林 事務所	津農林水 産事務所	四日市農 林事務所
傍聴	傍聴	傍聴	傍聴	傍聴
傍聴	傍聴	傍聴	傍聴	傍聴
傍聴	傍聴	傍聴	傍聴	傍聴

※長机1基当たり、2人掛け  
 ※出席状況により、レイアウトを変更する場合があります。  
 ※事務局・傍聴の前後は1.5m~2.0m間隔を空ける  
 ■ マイク

入口

受付

## 令和 3 年度第 1 回みえ森と緑の県民税評価委員会におけるご意見

1. 令和 2 年度みえ森と緑の県民税基金事業の実績に対するご意見  
みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業
  - (1) 里山再生・竹林整備推進事業（桑名市）
    - ・委託先の選定理由については、県民税の目的を踏まえ、的確に記載されたい。
  - (2) 津市林地残材搬出促進事業（津市）
    - ・交付金の大部分を特定の事業に充てることにより、一定の事業者の財産形成に資することになりかねないため、注意が必要である。
    - ・間伐した残存木が流木となり下流部に被害を及ぼす可能性は、現場の状況に応じて異なるため、搬出の必要性については十分に検討されたい。
  - (3) クップ普及推進事業（尾鷲市）
    - ・クップ競技の普及が森林教育とどのように結び付いているのかを記載されたい。
  - (4) 菰野富士ふるさとの山環境整備事業（菰野町）
    - ・整備した施設が、長期的に有効活用されるよう期待する。
    - ・高欄の安全性について、利用者にもわかるように示す必要性を感じる。
2. 令和 2 年度市町別総合評価についての情報交換に対するご意見
  - (1) 松阪市
    - ・地域産材を使用した木製品の中には高額なものが見受けられるため、高額となる理由と地域材を使う意義について整理されたい。
3. みえ森と緑の県民税基金事業に関する報告事項に対するご意見
  - (1) 認知度の分析結果に対するご意見
    - ・分析結果を踏まえ、本県民税の PR キャンペーン期間を設けるなど、効果的な広報活動を検討されたい。

- ・認知度が下がった項目について、さらに詳細な分析が必要である。

(2) 木製備品の活用状況調査結果に対するご意見

- ・すでに本県民税を活用して木製品を導入した市町のご意見や管理方法について、事例紹介するなど、市町への情報発信が必要である。

4. みえ森と緑の県民税基金事業全般に対するご意見

- ・斜面における危険木伐採等においては、全ての危険木を根元から伐採するのではなく、現場の状況に応じて伐採方法を検討するなど工夫して取組まれない。

5. その他

- ・本県民税創設の趣旨や制度、本県民税の活用における原則について情報共有するとともに、評価の視点について整理する機会を設けられたい。